
TWAINドライバー

ユーザーズガイド

目次

1 はじめに

- 1.1 TWAIN ドライバーとは 1-1
- 1.2 こんな使い方ができます 1-2
- 1.3 必要な動作環境 1-3
 - 1.3.1 ソフトウェア 1-3
 - 1.3.2 システム環境 1-3

2 TWAIN ドライバーのインストール

- 2.1 インストール 2-1
- 2.2 アンインストール 2-2

3 操作の流れ

4 読み込む準備をする

5 読み込む

- 5.1 原稿を確認しないで読み込む 5-2
 - 5.1.1 TWAIN ドライバーで開始する 5-2
 - 5.1.2 MFP（複合機）で開始する 5-3
- 5.2 原稿を確認、調整して読み込む 5-4
- 5.3 画像処理アプリケーションソフトウェアで読み込む 5-6

6 設定を変更する

- 6.1 画質を調整する 6-1
- 6.2 画質を詳細に調整する 6-3
- 6.3 読み込み領域を変更する 6-5
 - 6.3.1 プレビュー領域を変更する 6-5
 - 6.3.2 数値を入力して変更する 6-6
- 6.4 装置の設定を変更する 6-7
- 6.5 設定を保存する、呼出す 6-8
 - 6.5.1 設定を保存する 6-8
 - 6.5.2 設定を呼出す 6-8



6.5.3	設定を削除する	6-9
7	読み込み先の装置を選択する	
7.1	ネットワーク上の装置から選択する	7-1
7.2	登録リストから選択する	7-3
7.3	登録リストを編集する	7-5
7.3.1	装置を追加する	7-5
7.3.2	装置の情報を変更する	7-6
7.3.3	装置の情報をコピーする	7-7
7.3.4	装置の情報を削除する	7-7
8	認証設定がされている装置での読み込み	
8.1	ユーザー認証がされている装置	8-1
8.2	部門管理認証がされている装置	8-3
8.3	中間認証サーバーで認証がされている装置	8-4
9	困ったときにお読みください	

本製品について

TWAIN ドライバーは、LAN に接続された MFP（複合機）をスキャナーとして使用できるソフトウェアです。

登録商標および商標

商標について

Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

RSA® BSAFE™

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。



ライセンス情報

本製品は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

画面について

本書に掲載する画面は、Windows 7 の画面を使用しています。



ワンポイント

装置や設定および使用するコンピューターによって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご注意

本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは、固くお断りします。

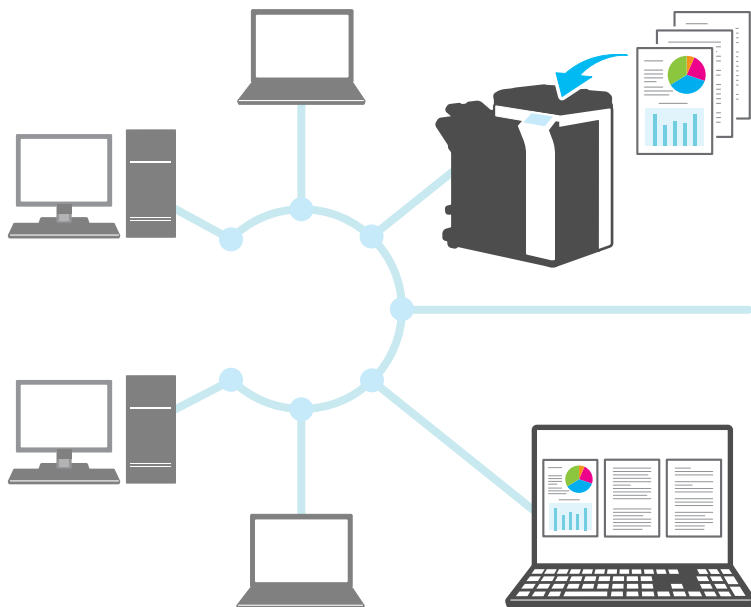
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

Copyright © 2005 KONICA MINOLTA, INC. All rights reserved.

1 はじめに

1.1 TWAIN ドライバーとは

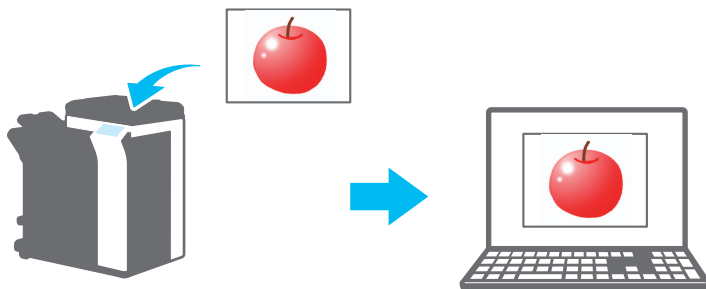
LAN に接続された MFP（複合機）から画像処理アプリケーションソフトウェアを操作して画像を読み込み、編集ができます。



1.2 こんな使い方ができます

TWAIN ドライバーを使うと、以下のようなことができます。

画像を読み込んで画像処理アプリケーションソフトウェアで編集



使い慣れた環境で文書を調整して電子化



1.3 必要な動作環境

1.3.1 ソフトウェア

このソフトウェアを使うには、あらかじめコンピューターに以下のソフトウェアをインストールしてください。

- TWAIN に対応した画像処理アプリケーションソフトウェア

1.3.2 システム環境

対応 OS	Windows Vista Home Basic (SP2 以降)* Windows Vista Home Premium (SP2 以降)* Windows Vista Business (SP2 以降)* Windows Vista Enterprise (SP2 以降)* Windows Vista Ultimate (SP2 以降)* Windows 7 Home Basic (SP1 以降)* Windows 7 Home Premium (SP1 以降)* Windows 7 Professional (SP1 以降)* Windows 7 Enterprise (SP1 以降)* Windows 7 Ultimate (SP1 以降)* Windows 8* / Windows 8.1* Windows 8 Pro* / Windows 8.1 Pro* Windows 8 Enterprise* / Windows 8.1 Enterprise* Windows 10 Home* Windows 10 Pro* Windows 10 Enterprise* Windows 10 Education* *32 ビット (x86) / 64 ビット (x64) 環境に対応。
コンピューター	OS の仕様に準ずる
メモリー	OS の仕様に準ずる
ネットワーク	TCP/IP プロトコルの設定が正しく行われているコンピューター
ハードディスク	20 MB 以上の空き容量が必要

最新の動作環境については Readme を参照してください。

2 TWAIN ドライバーのインストール

TWAIN ドライバーのインストールとアンインストールの手順を説明します。

ここでは、Windows 7 の例で説明します。

2.1 インストール

TWAIN ドライバーのインストールは以下の手順で行います。

< 操作手順 >

- 1 インストールプログラムを起動します (Setup.exe)。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
- 2 「はい」をクリックします。
- 3 以降は画面の指示に従って操作します。
インストールが開始され、必要なファイルがコピーされます。
コピーが終了すると、インストールの完了画面が表示されます。
- 4 「完了」をクリックします。
TWAIN ドライバーのインストールが終了します。



ご注意

Photoshop CS5 32 ビットで TWAIN ドライバーを使用するときは、Adobe のホームページから TWAIN のプラグインをダウンロードしてインストールする必要があります。

Photoshop CS5 64 ビットでは、TWAIN をサポートしていません。



ワンポイント

このソフトウェアには、MSI ファイル形式のインストーラーが用意されています。

MSI ファイルを使用することで、Active Directory からソフトウェアの配布とインストールを自動的行うことができます。

詳細につきましては、サービス実施店にお問い合わせください。

2.2 アンインストール

TWAIN ドライバーをアンインストールするには以下の手順で行います。

＜操作手順＞

- 1 オペレーティングシステムの「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「プログラムと機能」を選択します。
- 2 リストから対象のソフトウェアを選択してから「アンインストール」をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
- 4 以降は画面の指示に従って操作します。
- 「プログラムの保守」画面では「削除」を選択します。
アンインストールが開始され、終了するとアンインストールの完了画面が表示されます。
- 5 「完了」をクリックします。
TWAIN ドライバーのアンインストールが終了します。

3 操作の流れ

操作の流れを説明します。読み込み準備後に読み込む方法を選択します。



4 読み込む準備をする

原稿を読み込む準備をします。

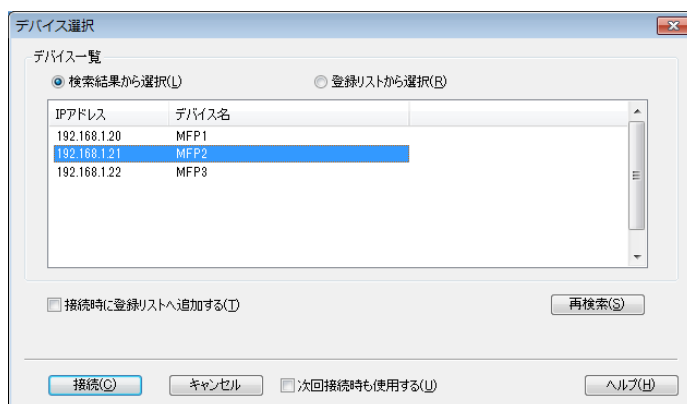


ご注意

MFP（複合機）側でスキャナー送信を禁止するよう設定されているときは、TWAIN ドライバーで画像を読みみできません。

< 操作手順 >

- 1 画像処理アプリケーションソフトウェアを起動します。
- 2 画像処理アプリケーションソフトウェアから TWAIN ドライバーを選択します。
 - アプリケーションによっては「対応機器の選択」というコマンドが表示されているものもあります。
この場合、いったん「対応機器の選択」でお使いの TWAIN ドライバーを選択してから読み込みの操作を行ってください。
「デバイス選択」画面が表示されます。
- 3 接続する装置を選択してから「接続」をクリックします。



- 登録リストから接続する装置を選択することもできます。詳しくは「登録リストから選択する」(p. 7-3) をごらんください。
- 「デバイス選択」画面について、詳しくは「読み込み先の装置を選択する」(p. 7-1) をごらんください。

- MFP（複合機）側でユーザー認証や部門認証を設定しているときは、それぞれの認証画面が表示されます。詳しくは、「認証設定がされている装置での読み込み」（p. 8-1）をごらんください。
- ログインするユーザーに対して、スキャナー送信を禁止するよう MFP（複合機）で設定されているときは、画像を読み込みできません。
- 「次回接続時も使用する」にチェックを付けると、次に TWAIN ドライバーを選択したときに「デバイス選択」画面は表示されずにメイン画面が表示されます。

メイン画面が表示されます。

4 「設定」タブの設定を行います。



- 原稿置き場所：原稿をセットする場所を選択します。
- 原稿モード：原稿を読み込む面を選択します。
- 読み込みサイズ：原稿の読み込みサイズを選択します。
自動検出：自動で読み込みサイズを選択します。
全面：原稿を読み取れる最大のサイズになります。
SEF、LEF：「SEF」は横、「LEF」は縦を示します。
不定形サイズ：読み込みサイズを自由に設定できます。設定したサイズはリストに登録でき、あとで利用できます。
- カラーモード：カラーモードを選択します。白黒 2 値、グレースケール、フルカラーから選択します。ログインしているユーザーまたは部門に対して、カラードキュメントの送信を禁止するよう MFP（複合機）で設定されているときは、「フルカラー」は表示されません。
- 解像度：読み込む解像度を選択します。100dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi から選択します。TWAIN ドライバーから 100dpi を指定してスキャンしたときだけ、MFP（複合機）の操作パネルまたは MFP（複合機）のジョブリストでは、200dpi と表示されます。

- スケール：読み込んだ原稿を拡大、縮小します。25% ～ 400% で設定します。読み取りサイズが B4 を超えるときや解像度が 600dpi のときは 25% ～ 100% で設定します。
- 原稿セット方向：原稿の向きを選択します。
- メイン画面のその他の項目について、詳しくは「設定を変更する」(p. 6-1) をご覧ください。
- 画像処理アプリケーションソフトウェアの設定によっては、メイン画面が表示されないことがあります。詳しくは「画像処理アプリケーションソフトウェアで読み込む」(p. 5-6) をご覧ください。


5

読み込みをします。
読み込む方法を選択します。

- 「原稿を確認しないで読み込む」(p. 5-2)
- 「原稿を確認、調整して読み込む」(p. 5-4)

5 読込む

原稿を読込みます。原稿を読込むには、以下の 2 つの方法があります。

原稿を確認しないで読込む	お急ぎのときや、あらかじめ設定がお分かりのとき、または読込み後に画像処理アプリケーションソフトウェアで調整するときにおすすめです。	p. 5-2
原稿を確認、調整して読込む	読込み後に画像処理アプリケーションで調整しないときにおすすめです。  ... ご注意 ADF では使用できません。	p. 5-4

 ...

ご注意

この操作の前に読込む準備をしてください。詳しくは「読込む準備をする」(p. 4-1) をごらんください。

 ...

ご注意

読込む原稿のファイルサイズが 200MB を超えたときは、確認メッセージが表示されます。
その場合はメッセージに従って、解像度または読込み範囲、スキャンタイプを変更してファイルサイズを小さくしてください。
そのまま読込みを実行すると、正常に読込めないか、読込みが終了するまでに時間がかかる恐れがあります。

5.1 原稿を確認しないで読込む

原稿を確認しないで読込みます。

お急ぎのときや、あらかじめ設定がお分かりのとき、または読込み後に画像処理アプリケーションソフトウェアで調整するときにおすすめです。

TWAIN ドライバーで読込みを開始する方法と、MFP（複合機）で読込みを開始する方法があります。



ご注意

原稿を確認しなくても原稿の調整はできます。詳しくは「設定を変更する」(p. 6-1) をごらんください。

5.1.1 TWAIN ドライバーで開始する

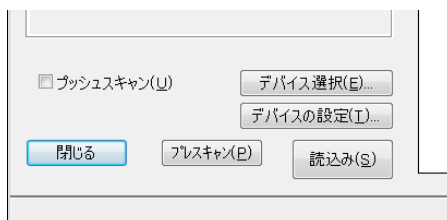
TWAIN ドライバーの「読込み」をクリックして読込みを開始します。

< 操作手順 >

1 ADF または原稿ガラス上に原稿をセットします。

2 「読込み」をクリックします。

原稿が読込まれ、画像処理アプリケーションソフトウェアに画像が表示されます。

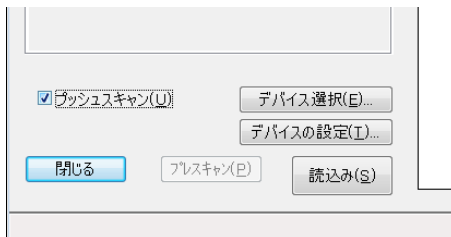


5.1.2 MFP（複合機）で開始する

MFP（複合機）の操作パネルにある［スタート］を押して読み込みを開始します。

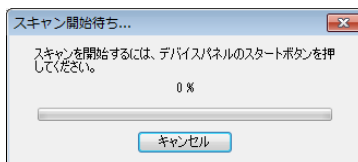
< 操作手順 >

- 1 [プッシュスキャン] にチェックを付けます。



- 2 [読み込み] をクリックします。

読み込みの準備ができると、原稿をセットするように促すメッセージが表示されます。



- 3 ADF または原稿ガラス上に原稿をセットします。

- 4 MFP（複合機）の操作パネルにある［スタート］を押します。

- ユーザー認証などが設定されているときは、［スタート］を押す前に MFP（複合機）の操作パネルでユーザー名やパスワードを入力する必要があります。

原稿が読みまれ、画像処理アプリケーションソフトウェアに画像が表示されます。

5.2 原稿を確認、調整して読む

原稿を読む前にプレビューを表示して確認します。確認後、画質を調整してから読みます。

読み後に画像処理アプリケーションで調整しないときにおすすめです。



ご注意

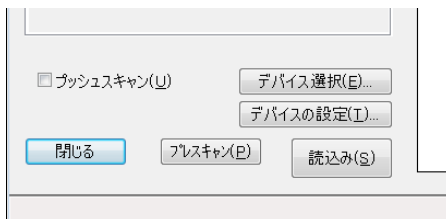
ADF では使用できません。

< 操作手順 >

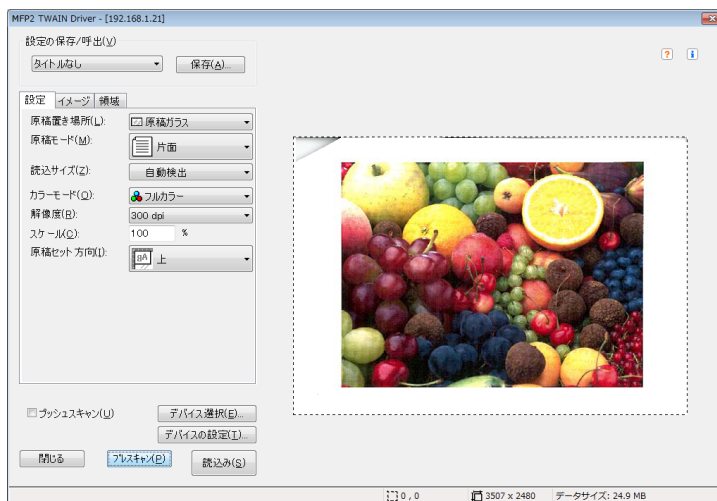
1 原稿ガラス上に原稿をセットします。

2 [プレスキャン] をクリックします。

原稿が低い解像度で読みまれ、プレビュー領域に表示されます。



3 画像を確認します。



4 画質を調整します。

- 画質の調整について、詳しくは「設定を変更する」(p. 6-1) をご覧ください。

5 「読み込み」をクリックします。

原稿が読み込まれ、画像処理アプリケーションソフトウェアに画像が表示されます。

5.3 画像処理アプリケーションソフトウェアで読込む

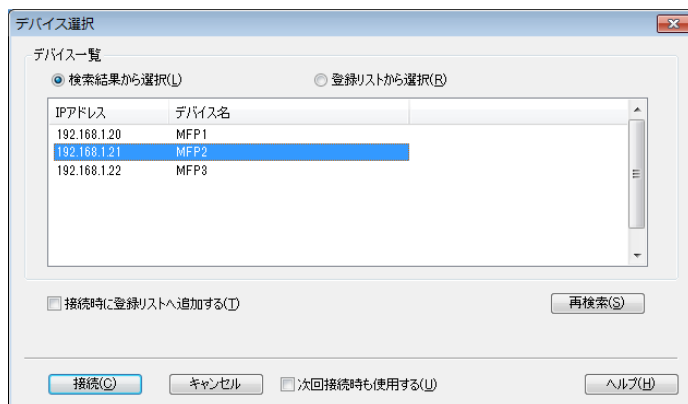
画像処理アプリケーションソフトウェアの設定によっては、メイン画面が表示されないことがあります。

ADF または原稿ガラス上に原稿をセットしてから画像処理アプリケーションソフトウェアの取扱説明書に従ってください。

下記の操作手順は Adobe Acrobat 9 を例に説明しています。

＜操作手順＞

- 1 ADF または原稿ガラス上に原稿をセットします。
- 2 画像処理アプリケーションソフトウェアを起動します。
- 3 画像処理アプリケーションソフトウェアからスキャンのメニュー（例：「白黒文書」、「グレースケール文書」、「カラー文書」、「カラー画像」）を選択します。
「デバイス選択」画面が表示されます。
- 4 接続する装置を選択してから「接続」をクリックします。



- 登録リストから接続する装置を選択することもできます。詳しくは「登録リストから選択する」(p. 7-3)をごらんください。
- 「デバイス選択」画面について、詳しくは「読み込み先の装置を選択する」(p. 7-1)をごらんください。
- MFP（複合機）側でユーザー認証や部門認証を設定しているときは、それぞれの認証画面が表示されます。詳しくは、「認証設定がされている装置での読み込み」(p. 8-1)をごらんください。
- ログインするユーザーに対して、スキャナー送信を禁止するよう MFP（複合機）で設定されているときは、画像を読み込みできません。

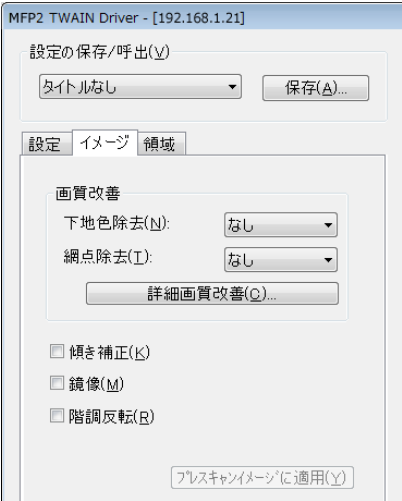
- 「次回接続時も使用する」にチェックを付けると、次に TWAIN ドライバーを選択したときに「デバイス選択」画面は表示されません。


原稿が読み込まれ、画像処理アプリケーションソフトウェアに画像が表示されます。

6 設定を変更する

6.1 画質を調整する

読込む原稿の画質を調整します。
メイン画面の「イメージ」タブをクリックして項目を表示します。



項目	説明
下地色除去	紙の変色など不要な下地色を消します。なし、弱、標準、強から選択します。フルカラーのときに有効です。
網点除去	網点で印刷された原稿のモアレ発生を防ぎます。なし、弱、標準、強から選択します。フルカラー、グレースケールのときに有効です。
詳細画質改善	クリックすると「詳細画質改善」画面が表示されます。より詳しく画質を調整できます。詳しくは「画質を詳細に調整する」(p. 6-3) をご覧ください。
傾き補正	読込んだ原稿の傾きを自動的に調整します。  ... ご注意 画像サイズが小さいときは、正常に機能しないことがあります。
鏡像	読込んだ原稿を左右反転します。

項目	説明
階調反転	ネガフィルムのように色の階調を反転します。
ブレスキャンイメージに適用	プレビュー領域に読み込んだ原稿に調整を適用します。

6.2 画質を詳細に調整する

読み込む原稿の画質を詳細に調整します。

メイン画面の［イメージ］タブから［詳細画質改善］をクリックします。

6つのタブに分かれています。

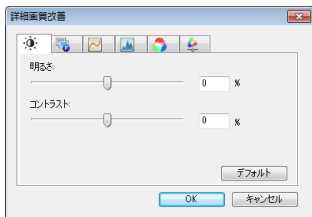
各タブで［デフォルト］をクリックすると、初期値に戻ります。



ご注意

グレースケールや白黒2値のときは調整できない項目があります。

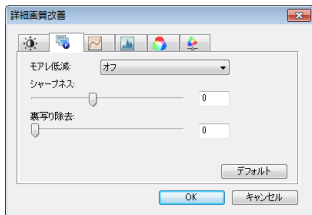
明るさ、コントラスト



明るさやコントラストを調整します。

- ・ 明るさ：
明るさを調整します。
- ・ コントラスト：
コントラストを調整します。

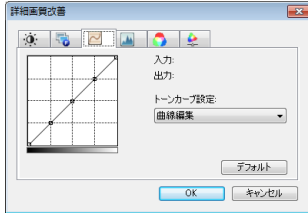
シャープ



モアレ低減、シャープネス、裏写り除去を調整します。

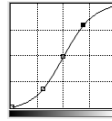
- ・ モアレ低減：
［オン］にするとモアレ（印刷物を読み込むときにできるしま模様）の発生を抑えます。
- ・ シャープネス：
画像の輪郭などを強調します。ぼやけて見えるときに使用します。
- ・ 裏写り除去：
裏面の文字や図形が写りこんでいるときに、表面の文字や図形に影響を与えずに除去できます。

トーンカーブ

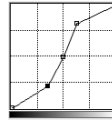


画像の補正前と補正後の結果を表した線を調節し、画像の明るさを補正します。

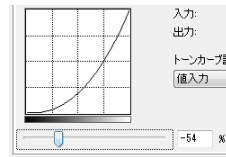
- ・ 曲線編集：



- ・ 直線編集：



- ・ 値入力：



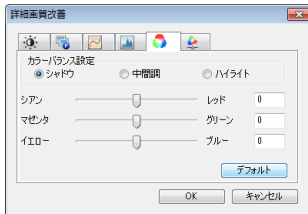
レベル



画像のレベル分布をヒストグラムで確認しながら調整します。

写真原稿を調整するときに使用します。

カラーバランス

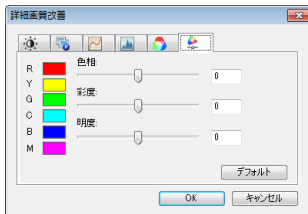


赤系、青系、黄系に分けて色を調整します。

色かぶりの除去に使用します。スライダーを左に動かすと色が薄くなり、右に動かすと色が濃くなります。

- ・ シェドウ：
暗めの色を調整します。
- ・ 中間調：
中間調の色を調整します。
- ・ ハイライト：
明るめの色を調整します。

色相、彩度、明度

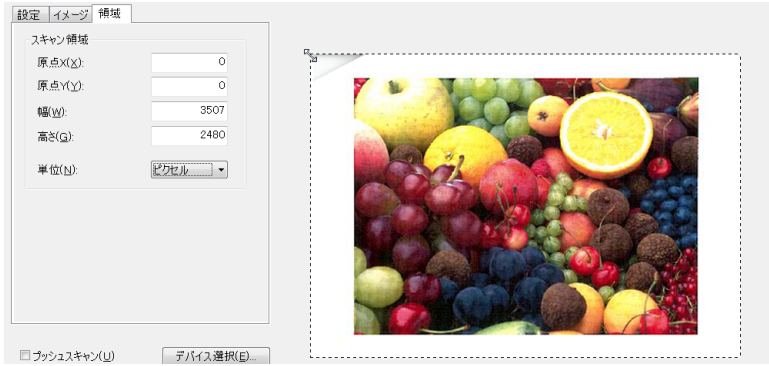


色相、彩度、明るさを調整します。

- ・ 色相：
色相を調整します。
- ・ 彩度：
彩度を調整します。
- ・ 明度：
明るさを調整します。

6.3 読み込み領域を変更する

読み込み領域を変更します。プレビュー領域でカーソルをドラッグして調整します。[領域] タブで数値入力することもできます。



6.3.1 プレビュー領域で変更する

プレビュー領域でカーソルをドラッグして読み込み領域を変更します。

領域の大きさを変更	領域の角をドラッグします。
領域の幅、高さを変更	領域の辺をドラッグします。
領域を移動	領域の中をドラッグします。

6.3.2 数値を入力して変更する

「領域」タブで数値を入力して読み込み領域を変更します。

設定

イメージ

領域

スキャン領域

原点X(X):

0

原点Y(Y):

0

幅(W):

3507

高さ(H):

2480

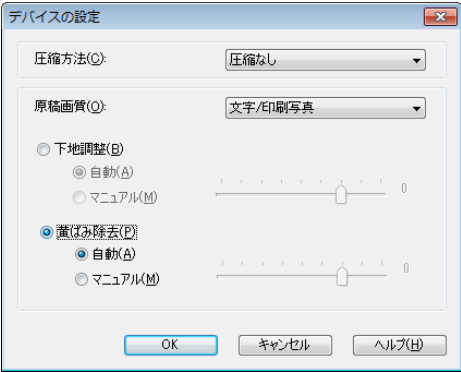
単位(U):

ピクセル

項目	説明
原点 X、原点 Y	領域の左上の位置を入力します。 横方向を X、縦方向を Y として入力します。
幅	領域の幅を入力します。
高さ	領域の高さを入力します。
単位	数値の単位を変更します。

6.4 装置の設定を変更する

装置側で原稿画像を圧縮する方法や画質を変更します。



項目	説明
圧縮方法	<p>読込んだデータの圧縮方法を選択します。 [JPEG]を選択すると、少し画質は悪くなりますが読み込み速度が速くなります。</p> <p> ...</p> <p>ご注意 MFP（複合機）によっては、選択できないときがあります。詳しくは、お使いの MFP（複合機）のユーザズガイドをごらんください。</p>
原稿画質	<p>文字、写真など原稿に合わせた画質を下記から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 文字・ 印刷写真・ 文字 / 印刷写真・ 印画紙写真・ 文字 / 印画紙写真・ 薄文字・ 地図・ コピー原稿
下地調整	<p>下地に薄く色のついた紙などを読み込むときに、下地の濃さを調整します。自動とマニュアルを選択できます。 [黄ばみ除去]を選択しているときは、選択できません。</p>
黄ばみ除去	<p>経年劣化や日光などでおこる原稿の黄ばみを抑え、白くします。自動とマニュアルを選択できます。 [下地調整]を選択しているときは、選択できません。</p>



ご注意

上記以外の項目が設定できる装置もあります。

6.5 設定を保存する、呼出す

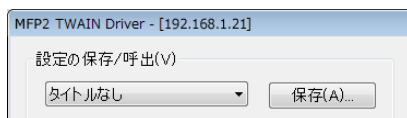
変更した設定は保存し、呼出して使用できます。

6.5.1 設定を保存する

変更した設定を保存します。

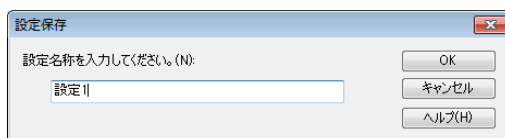
< 操作手順 >

- 1 設定を変更後、[保存] をクリックします。



「設定名称を入力してください。」というメッセージが表示されます。

- 2 テキストボックスに名前を入力し、[OK] をクリックします。



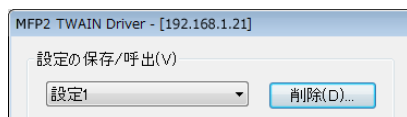
設定が保存されます。

6.5.2 設定を呼出す

保存した設定を呼出します。

< 操作手順 >

- プルダウンリストから選択します。
 - [デフォルト] を選択すると、初期値に戻ります。

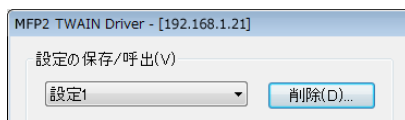


6.5.3 設定を削除する

現在呼出し中の設定を削除します。

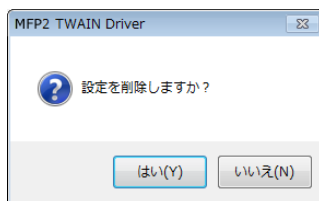
< 操作手順 >

- 1 「削除」をクリックします。



「設定を削除しますか?」というメッセージが表示されます。

- 2 「はい」をクリックします。



設定が削除されます。

7 読み込み先の装置を選択する

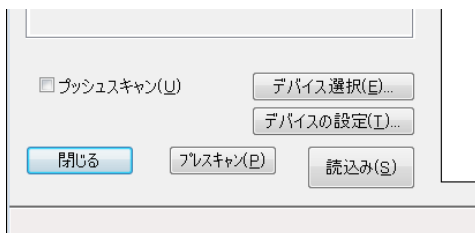
ネットワーク上で読み込みできる装置を選択します。最初に TWAIN ドライバーを開いたときやメイン画面から「デバイス選択」をクリックしたときに表示される「デバイス選択」画面で操作します。

7.1 ネットワーク上の装置から選択する

ネットワーク上で自動的に検索された装置を選択します。

< 操作手順 >

- 1 TWAIN ドライバーを開く、またはメイン画面から「デバイス選択」をクリックします。



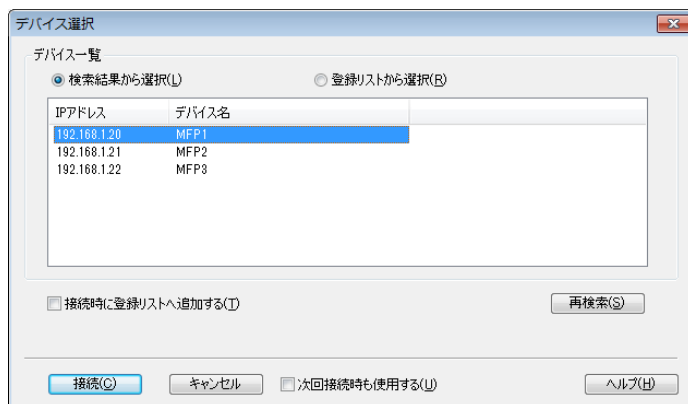
デバイス選択画面が表示されます。

リストにはネットワーク上で自動的に検索された装置の一覧が表示されます。

- もう一度検索したいときは「検索結果から選択」をクリックします。

2 接続したい装置を選択して、[接続] をクリックします。

- 接続するときに登録リストへ追加するときは、[接続時に登録リストへ追加する] にチェックを付けます。登録リストについて、詳しくは「登録リストを編集する」(p. 7-5) をご覧ください。
- 認証設定がされている装置を読み込むときは、表示される各画面で必要な情報を入力します。詳しくは「認証設定がされている装置での読み込み」(p. 8-1) をご覧ください。
- [次回接続時も使用する] にチェックを付けると、次に TWAIN ドライバーを選択したときに「デバイス選択」画面は表示されずにメイン画面が表示されます。



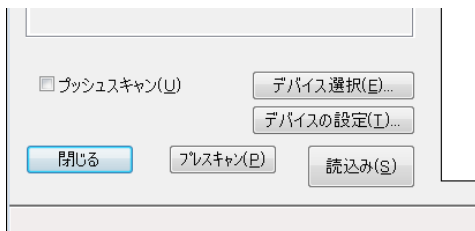
メイン画面が表示されます。

7.2 登録リストから選択する

登録リストから装置を選択します。

< 操作手順 >

- 1 TWAIN ドライバーを開く、またはメイン画面から [デバイス選択] をクリックします。



デバイス選択画面が表示されます。

- 2 [登録リストから選択] をクリックします。



3 接続したい装置を選択して、[接続] をクリックします。

- 認証設定がされている装置を読み込むときは、表示される各画面で必要な情報を入力します。詳しくは「認証設定がされている装置での読み込み」(p. 8-1) をご覧ください。
- 登録リストの装置の追加や編集、コピー、削除のしかたは「登録リストを編集する」(p. 7-5) をご覧ください。
- [次回接続時も使用する] にチェックを付けると、次に TWAIN ドライバーを選択したときに「デバイス選択」画面は表示されずにメイン画面が表示されます。



メイン画面が表示されます。

7.3 登録リストを編集する

登録リストの装置の追加や編集、コピー、削除をします。

「デバイス選択」画面で「登録リストから選択」をクリックすると登録リストが表示されます。

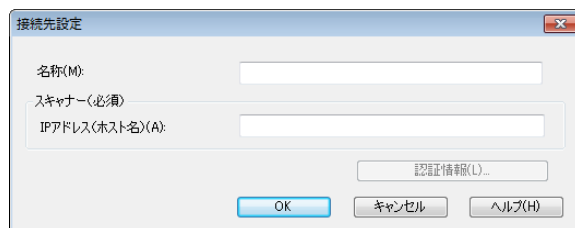


7.3.1 装置を追加する

登録リストに装置を追加します。

< 操作手順 >

- 1 「追加」をクリックします。
「接続先設定」画面が表示されます。
- 2 装置の情報を入力し、[OK] をクリックします。
 - 「名称」：機器の名称を入力します。
 - 「IP アドレス (ホスト名)」：装置の IP アドレスまたはホスト名を入力します。



7.3.2 装置の情報を変更する

登録リストに追加された装置の情報を変更します。

< 操作手順 >

- 1 リストから変更したい装置を選択し、[編集] をクリックします。
「接続先設定」画面が表示されます。
- 2 装置の情報を入力します。



The dialog box titled "接続先設定" (Connection Settings) contains the following fields and buttons:

- 名称(M): MFP1
- スキャナー(必須):
- IPアドレス(ホスト名)(A): 192.168.1.20
- 認証情報(再入力)... (button)
- OK (button)
- キャンセル (button)
- ヘルプ(H) (button)

- 名称：機器の名称を入力します。
- IP アドレス（ホスト名）：装置の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- 認証情報：前回接続時に認証情報が保存されていると有効になります。クリックすると認証情報が表示されます。[認証情報をクリア] をクリックすると認証情報がクリアされます。[OK] をクリックすると、「接続先設定」画面が表示されます。



The dialog box titled "認証情報" (Authentication Information) contains the following sections and fields:

- ユーザー認証 (User Authentication)
 - ユーザー名: user01
 - パスワード: ●●●●
- 部門管理 (Department Management)
 - 部門名:
 - パスワード:
- 認証情報をクリア(C) (button)
- OK (button)
- キャンセル (button)
- ヘルプ(H) (button)

7.3.3 装置の情報をコピーする

登録リストに追加された装置の情報をコピーします。

< 操作手順 >

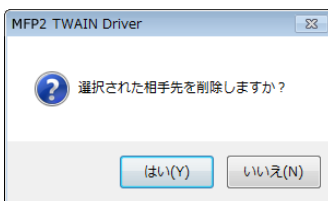
- 1 登録リストからコピーしたい装置の情報を選択し、[コピー] をクリックします。
- 2 登録リストに装置の情報がコピーされます。

7.3.4 装置の情報を削除する

登録リストに追加された装置の情報を削除します。

< 操作手順 >

- 1 登録リストから削除したい装置の情報を選択し、[削除] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
- 2 [はい] をクリックします。



選択した装置の情報が削除されます。

8 認証設定がされている装置での読み込み

8.1 ユーザー認証がされている装置

装置にユーザー認証がされていると、メイン画面が表示される前に「ユーザー認証」画面が表示されます。

あらかじめ設定されたユーザー名とパスワードを入力します。

詳しくは管理者にお問い合わせください。

<操作手順>

- 1 [Public ユーザーとしてログインする] または [登録ユーザーとしてログインする] をクリックします。
 - ユーザー認証設定時にパブリックユーザーが認められているときは、[Public ユーザーとしてログインする] をクリックします。それ以外は [登録ユーザーとしてログインする] をクリックします。

2 ユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

- [Public ユーザーとしてログインする] をクリックしたときは、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。
- [この設定を保存する] にチェックを付けると、次に同じ装置を選んだときはユーザー名とパスワードが入力された状態になります。
- MFP（複合機）のユーザー認証設定で外部サーバー認証を選択し、複数のドメインを登録しているときは、ユーザー名の後ろに「@ ドメイン」を入力してください。例えば、ユーザー名が user@1、ドメイン名が domain のときは「user@1@domain」と入力します。

ユーザー認証 - []

ユーザー名とパスワードを入力してください。

☐ Publicユーザーとしてログインする(U)

☒ 登録ユーザーとしてログインする(R)

☒ 外部認証サーバー(A)

ユーザー名(N): user01

パスワード(P): ****

外部認証サーバー(A):

☒ この設定を保存する(S)

OK キャンセル ヘルプ(H)

8.2 部門管理認証がされている装置

装置に部門管理認証がされていると、メイン画面が表示される前に「部門管理認証」画面が表示されます。

あらかじめ設定された部門名とパスワードを入力します。

詳しくは管理者にお問い合わせください。

< 操作手順 >

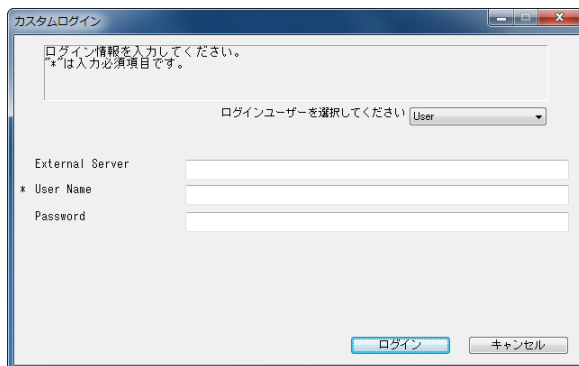
- 部門名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
 - [この設定を保存する] にチェックを付けると、次に同じ装置を選んだときは部門名とパスワードが入力された状態になります。

8.3 中間認証サーバーで認証がされている装置

装置が中間認証サーバーで認証がされていると、メイン画面が表示される前に「カスタムログイン」画面が表示されます。

あらかじめ設定されたユーザー名とパスワードを入力します。

詳しくは管理者にお問い合わせください。



- 画面は一例です。中間認証の画面は、認証アプリケーションソフトウェアによって異なります。

9 困ったときにお読みください

エラーメッセージと原因、その対処方法を説明します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
接続先 (IP アドレス) に接続できませんでした。	指定した IP アドレスが間違っています。	接続先の IP アドレスを確認してください。
接続先デバイスはサポートされていません。	指定した IP アドレスの装置が本 TWAIN ドライバーに対応していません。	本 TWAIN ドライバーに対応した装置を接続先に指定してください。
ユーザー認証は失敗しました。ユーザー名、パスワードを確認してください。	ユーザー名またはパスワードが間違っています。	正しいユーザー名とパスワードを確認してください。
認証アカウントがロックされています。しばらく後にアクセスするか、管理者に問い合わせてください。	認証アカウントがロックされています。	しばらく後にアクセスするか、管理者に問い合わせてください。
外部認証サーバーエラーのためログインできませんでした。	外部認証サーバーに接続できません。	外部認証サーバーが正常に動いているか確認してください。
サーバーが認証要求を受け付けることができませんでした。しばらく待ってから、再度ログイン操作を行ってください。	認証装置に接続できませんでした。	しばらく待ってからもう一度接続してください。
部門認証は失敗しました。部門名、パスワードを確認してください。	部門認証が失敗しました。	正しい部門名、パスワードを確認してください。
デバイスへのログイン数が最大値に達したため、ログインできません。	装置へのログイン数が最大値になっています。	しばらく待ってからもう一度接続してください。
デバイスからの応答を受信できませんでした。	装置と通信できませんでした。	ネットワークや装置の状態を確認してください。
デバイスにてメモリエラーが発生しました。	装置でメモリエラーが発生しました。	装置の管理者に問い合わせてください。
用紙サイズが検出されていません。用紙をセットして OK を押してください。	ADF またはガラス面に原稿がありません。	ADF または原稿ガラス面に原稿をセットしてください。
アクセスは拒否されました。	装置に接続する権限がありません。	装置の管理者に問い合わせてください。
デバイスエラーのため、スキャンを行うことはできませんでした。	デバイスエラーが発生しました。	装置の状態を確認してください。
ジョブ登録数が最大値に達したため、スキャンを開始することができませんでした。	ジョブ登録数が最大値に達しました。	しばらく待ってからもう一度接続してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
デバイスが使用中のためスキャンを開始することができませんでした。	装置が使用中、または使用できない状態になっています。	しばらく待ってからもう一度接続してください。 しばらく待っても同じメッセージが出る場合は、装置の管理者に問い合わせてください。
デバイスが省電力モードのためスキャンを開始できませんでした。 以下の方法で省電力モードを解除し、OKを押してください。再度スキャンを実行します。 ・ 副電源が OFF の場合は、ON にする。 ・ 副電源が ON の場合は、パワーセーブキーを押す。	装置が省電力モードのためスキャンを開始できませんでした。	以下の方法で省電力モードを解除し、OKを押してください。もう一度読み込みを実行します。 ・ 副電源が OFF のときは、ON にする。 ・ 副電源が ON のときは、パワーセーブキーを押す。
再度スキャンを実行しようとしたが、デバイスが省電力モードのためスキャンを開始できませんでした。	装置が省電力モードのためスキャンを開始できませんでした。	以下の方法で省電力モードを解除し、読み込みをやり直してください。 ・ 副電源が OFF のときは、ON にする。 ・ 副電源が ON のときは、パワーセーブキーを押す。
スキャンは、デバイスからキャンセルされました。	装置からキャンセルされました。	装置の状態を確認してください。
スキャンエラーが発生しました。	スキャンエラーが発生しました。	装置の状態を確認してください。
デバイスとの通信中にエラーが発生しました。	デバイスとの通信中にエラーが発生しました。	ネットワークや装置の状態を確認してください。
デバイス機能制限により、スキャンを行うことができませんでした。	ユーザー機能制限でスキャナー送信禁止になっています。	装置の管理者に問い合わせてください。

